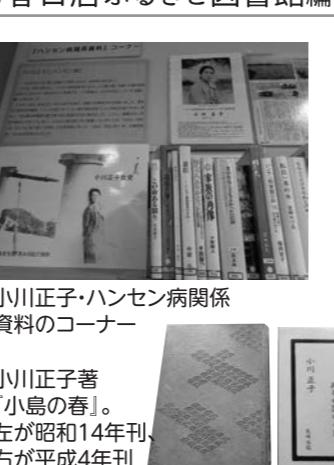


## ハンセン病患者に心を碎いた女医

ハンセン病はかつて薬がなく、手足や顔が変形する感染症のため、患者は偏見や差別に苦しんでいました。その救済に半生を捧げた女医が、旧春日居村出身の小川正子です。正子は昭和7年に岡山県の療養所・長島愛生園に出向き、患者に寄り添いながら医師として働きました。また、検診の旅の手記『小島の春』は、病と差別に苦しむ人々や、隔離のために生き別れになる家族などがその情景を詠んだ歌と共に書かれ、後にベストセラーとなり、映画化もされました。

当館では正子の著作やハンセン病関連の資料を収集しています。その内容は、病の歴史や研究、患者による詩歌や隨筆など多岐に渡ります。今年は小川正子生誕120年。ハンセン病を知る機会になればと思います。

(春日居ふるさと図書館 雨宮優子)



この本が  
好き！

図書館スタッフおすすめの1冊

## 『宙の名前』

林完次 写真・文  
角川書店

最近、空見てますか？



山梨県立図書館  
企画振興担当  
武井香澄

この本では、夜の空に関するさまざまな日本語が紹介されています。三日月、アンドロメダなど耳にしたことのある言葉から、一升星、横着星など変わった言葉まで色々あります。美しい写真と共に解説されていて、読むというより「ながめる」という感覚です。

ちょっと疲れた日、眠る前にこの本を開くと、気持ちが平らかになる心地がします。それからふと窓の外を見ると、本物の空があることに気づきます。

ちなみに私が印象に残った言葉は「地球照」。気になった方は、ぜひ本を開いてみてくださいね。

## Information

## 2022年度これからのおイベント

10月  
16日(日)  
中高生ジョイントコンサート  
inかいぶらり

県内の中・高校生による吹奏楽、管弦楽、アンサンブル、アカペラ等のコンサートです。若さ溢れる演奏をぜひ間近で味わってください。



1月  
7日(土)  
かいぶらりシチズンカレッジ・放送大学公開講座  
「人間と食品のかかわり」

人間が様々な知恵を絞り、摂取できる食品を拡大させてきた歴史と、食品にまつわる現代の様々な問題についての講座を実施します。



※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期または中止となる場合があります。

副館長  
清水規与美の  
ひとこと箋

図書館は  
ステキ！



整然と本が並ぶ書棚、換気のゆき届いた空間、あれこれ本を手に取る方、ゆっくり新聞を読む方、読書に没頭する方、何冊もの本を見比べレポートを書く方、イベントが楽しみな方、図書館を愛する大勢の職員…これらを内包した県立図書館。

11月には新館開館10周年を迎えます。

読書  
山梨



YAMANASHI  
PREFECTURAL  
LIBRARY



言葉は  
無  
料

新館開館  
10周年  
記念コラム

10  
周年記念

新山梨県立図書館  
プロジェクト

阿刀田名誉館長×金田一館長×  
辻村深月さんによるトークショー

11月13日(日)

10月中旬より申込開始。前・現館長と山梨県出身の直木賞作家辻村さんによる、本にまつわるトークをお楽しみください。



新館10周年の記念冊子を  
作成します

「〇〇に贈る本」をテーマに、山梨県にゆかりのある約40名の方々にメッセージをいただき、冊子としてまとめます。来年3月発行予定。





図書館利用者  
廣瀬敏夫さん

## 新館開館 10周年 図書館と つながる みんなの声

家が近いので、休日によく利用しています。目的の本を探しに来て、偶然ほかの本にも出合えるのが図書館の面白い所。趣味の短歌や写真の本、小説のほか、最近は中高生向けの本も若い頃の気持ちを思い出しながら読んでみたりと楽しんでいます。仕事で使う古い資料も所蔵が多いので助かります。退職したら、散歩がてら訪れて、のんびり読書したいですね。



交流ルーム・  
多目的ホール利用者  
童謡歌手  
若林秀和さん

2012年からの10年の間、様々な場面でお世話になつた皆さまから、図書館にまつわる思い出を伺いました。

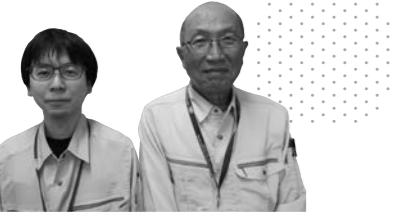


月2回、多目的ホールで「童謡を楽しむ会」を主催しています。1時間の間に参加者さんからリクエストをもらって、童謡や歌謡曲をみんなで歌っています。ホールは窓が大きいので、明るい雰囲気で歌を楽しめるのがいいですね。現在8年目。開始当初に来てくれたお子さんが夏休みで遊びに来てくれることもあつたり、少しずつ輪が広がっていて嬉しいですね。



山梨県立図書館OB  
日向俊子さん

新館開館時、ちょうど退職一年前でした。図書館ボランティアさんをはじめ、肢体、視覚、聴覚に障害を持つ様々な方々からご意見を伺いオープンした新図書館。今でも忘れないのが、不安の中迎えたオープンの日。旧館は多くても500人位の来館者数でしたが、なんと5,000人の人が来館。図書や施設をたくさんの皆様に使われているのを実感し、嬉しさがこみあげてきました。



甲府ビルサービス株式会社  
三枝翔太さん&古川文雄さん

館内の空調の制御、設備の管理、緊急時の対応などが主な業務です。年2回の防災訓練は図書館スタッフとタッグを組んで一緒に行っています。守衛室に丸1日缶詰になって館内のカメラや、空調の機械を確認するのは少し大変ですが、部屋から出ることなく1日何も起きない日は安全面では1番うれしい日ですね。



星野書店  
須藤紀子さん

開館準備の頃から、雑誌などを納品しています。甲府駅前に図書館ができる、地域の方がより本に親しむ土壤ができたと感じています。開館当時は小さかった子どもと絵本をよく借りにきました。また、ここ10年弱、県の読書活動促進事業「やま読」の委員会でも図書館を訪りますが、他の書店とつながりができたことで、みんなも頑張ってのなあと日々励まされています。



山梨県立図書館  
協力会  
会長  
小宮山光江さん

旧図書館の頃から協力会に参加しています。今は本の配架と代読サービスのボランティアを行っています。読書が困難な方に対面で音読するのですが、合間の雑談からこちらが学ばせていただくこともあります。また、ボランティアの研修で金田一館長のお話を聞けたり、他の図書館の見学にみんなで行ったこともいい思い出ですね。



株式会社  
SPSやまなし  
長田なつきさん

交流ルームの受付や総合的な案内、館内の飾り付けや季節の展示などを主に行っています。イベントや講座などを通して様々な年齢層の方とやり取りをするので、お名前やお顔を覚えることを大切にしています。「利用してよかったよ」の一言はやはりうれしいですね。リピーターの方も増えてきていますので、ますます満足いただけるよう頑張ります!



図書カフェ  
by白州・山の水農場  
水谷三重子さん

「食べることも生きることも好奇心・探求心があればもっと豊かになる!」をコンセプトにきのこや地元食材を使ったカフェを運営しています。オープンして1年半、最近は近所の中学生からおじいちゃんおばあちゃんまで、日常の中で立ち寄る方が多いのが嬉しいですね。これからも手作りのあたたかい、胃が疲れないメニューで、知的活動や学びを頑張る人を応援したいです。



テーマ展示  
の報告

## 富士山に登る 令和4年7月15日(金)~9月25日(日)

女性の富士登山が許可されてから150年となることから、「富士山に登る」をテーマに資料を紹介しました。ガイドブックや登山の歴史といった富士登山に関する資料、自然環境や信仰など富士山を調べるために必要な資料、富士山が世界文化遺産に登録されるまでの道のりが分かる資料、さらに国内の世界文化遺産に関する資料も展示しました。展示リストは県立図書館のホームページでご覧いただけますので、ご利用ください。

(調査サービス担当 山本)



『富士山世界遺産登録へのみちのり』  
田畠貞壽／監修・編著  
『富士山世界遺産登録へのみちのり』  
編集委員会

『富士を登る  
吉田口登山道ガイドブック』  
富士吉田市歴史民俗博物館／編  
富士吉田市教育委員会



## 県図書TOPICS

TOPIC1

### 坪内稔典氏講演会& 金田一館長との トークショー

7月23日、俳人の坪内稔典氏による講演会と金田一館長とのトークショー「金田一秀穂は ももだよ」を開催し、会場とオンライン合わせて約90名にご参加いただきました。なぜ「もも」なのか?から始まり、作者と読み手の関係、代表句の裏話など、軽妙なトークに会場が沸きました。(企画振興担当 大窪)



TOPIC2

### 生涯学習成果活用講座 「未来をつくるSDGs」に協力 (県生涯学習推進センター主催)

8月9日、小学校5年生から高校生までの10人がSDGsについて学ぶ連続講座の1コマを担当しました。本の探し方などの案内の後は、それぞれが設定したテーマについて、図書館資料を使っての情報収集。今回のワークをきっかけに、これからも図書館を活用してほしいと思います。(調査サービス担当 進藤)



TOPIC3

### 四川省からの留学生が 文化を語る! 「中国・四川チャチャチャ! 日本チャチャチャ!」

外国講師による文化交流事業「ことばのひろば」、6月のテーマは中国(四川省)でした。中国式のあいさつ・四川の方言・料理・パンダの紹介、正月や祝時に飾る切り絵・剪紙を受講者と作成し、四川の文化をぎゅっと詰め込んだ楽しいトークや実演に大人や子供も夢中でした。



(企画振興担当 赤池)

TOPIC4

### 「子どもの読書 オープンカレッジ」 (第2回)を開催しました

7月14日、JPIC読書アドバイザー、安富ゆかり氏を講師にお迎えして、「読み聞かせ・おはなし会を振り返る」をテーマに開催しました。後半のワークショップでは、参加者同士が読み聞かせを行い、お互いに感想を交わし合って、今後の活動の参考としました。



(子ども読書推進担当 岩谷)